

「子ども部会」平成31年度後期活動報告について

1 開催日時

第13回子ども部会	令和元年12月11日(水)
第14回子ども部会「子育て支援セミナー」	令和元年12月17日(火)
第15回子ども部会	令和2年2月14日(金)

2 部会員

団体等名	氏名
社会福祉法人 ひかりの家	関 美智子 (部会長)
社会福祉法人 ひかりの家	野々山 貴
医療法人 成精会	佐々木 広香
刈谷市肢体不自由児・者父母の会	藤井 孝
刈谷手をつなぐ育成会	篠原 真由美
らっこちゃん親の会	宮田 志保子
刈谷児童相談センター	河合 清香
刈谷市立刈谷特別支援学校	中森 琴美
愛知県立安城特別支援学校	加藤 昌子
子育て支援課	山本 奈緒子
学校教育課	早川 真由美
刈谷市社会福祉協議会	日沖 靖子

3 報告事項

(1) 第13回子ども部会 (令和元年12月11日開催)

ア 子育て支援セミナーの開催について

保護者支援を目的とした子育て支援セミナーを開催するため、子どもの成長・発達に伴う保護者と子どもの関係性の変化に関する講演と来場者からの事前質問について内容の検討を行った。

(ア) 児童期から思春期にかけての子どもの成長と発達に伴う、子どもとの適切な関わり方について、児童精神科の分野から事例を交えた講演を行う。

(イ) 参加者から申し込みの際にいただいた事前質問について、各部会員等が医療、福祉、教育の立場から回答する。

イ 福祉と教育の連携体制について

様々な支援機関において活用してもらうため、市内の小中学校、障害児通所支援事業所を対象に「わたし手帳」見直しに関するアンケートを実施した。当該アンケート結果を踏まえて、内容の見直しについて検討を行っていくこととした。

ウ 医療的ケア児の支援体制の整備について

医療的ケア児者の人数や当事者の困りごと等の実態を把握するための調査を愛知県と名古屋市が合同で実施しており、愛知県から調査結果が今年度末に送られてくる予定であるため、来年度以降、調査結果を基に医療的ケア児の課題の共有と対応策の検討等を行っていくこととした。

(2) 第14回子ども部会「子育て支援セミナー」(令和元年12月17日開催)

ア セミナー内容

内容	講演者等
講演 「児童期から思春期にかけての子どもの発達と関わり方」	医療法人成精会 理事長 平野 千晶 氏
来場者からの質問タイム 【テーマ】 ・子どもの見守り方 ・子どもへの伝え方 ・性に関すること ・その他	【コーディネーター】 ひかりのかけ橋 関 美智子 氏
	【回答者】 医療法人成精会 平野 千晶 氏 社会福祉法人ひかりの家 野々山 貴 氏 刈谷市肢体不自由児・者父母の会 藤井 孝 氏 刈谷手をつなぐ育成会 篠原 真由美 氏 らっこちゃん親の会 宮田 志保子 氏 刈谷市立刈谷特別支援学校 中森 琴美 氏 愛知県立安城特別支援学校 説田 智洋 氏 刈谷市学校教育課 早川 真由美 氏 刈谷市社会福祉協議会 日沖 靖子 氏

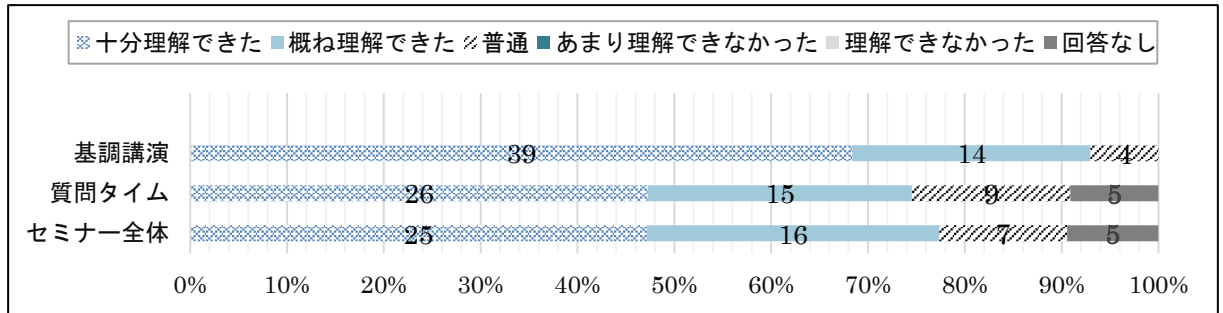
イ 参加者数

59名 (一般参加者51名、支援機関及び当事者団体等8名)

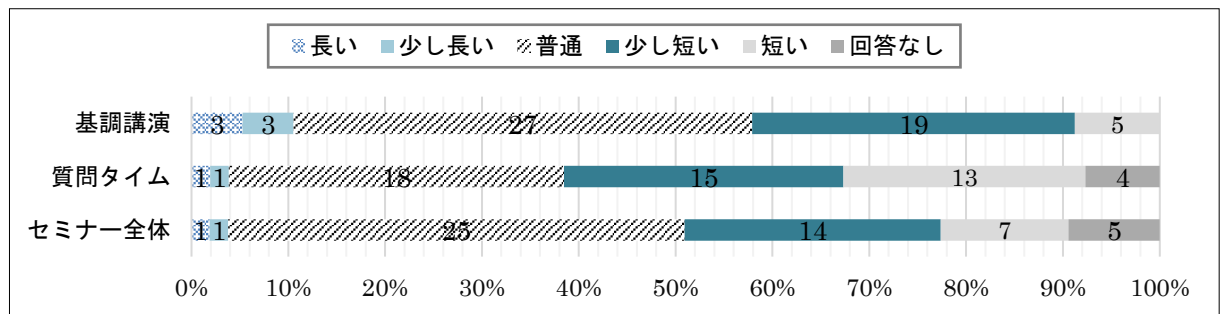
※前年度実績 44名 (一般参加者31名、支援機関及び当事者団体等13名)

ウ アンケート結果

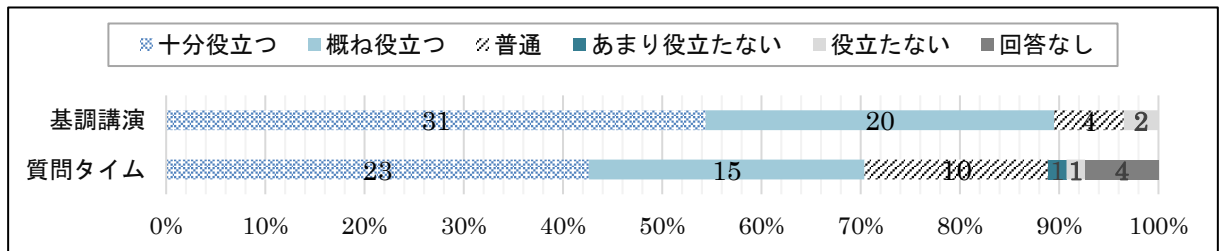
【内容の理解度】



【時間】



【日常の子育てや生活に役立つか】



【自由記述】

- ・「豊かな感覚体験」「豊かな失敗」「豊かな言葉との出会い」という3つのキーワードが心に残りました。
- ・子どもが失敗することは怖いですが、様々なことを体験させることの大切さが分かった。最初から止めるのではなく、見守っていくことも必要と思いました。
- ・回答者にメンバーが揃っているのに、質問タイムの時間が短かったのは残念だった。
- ・事前の申し込みが必要となっていることで、少しハードルが高いセミナーになっているかと思います。

(3) 第15回子ども部会（令和2年2月14日開催）

ア 子育て支援セミナー振り返りについて

参加者からのアンケート結果に基づいて、当日の所感や反省点を確認し、来年度のセミナー開催について検討を行った。

(ア) 参加者のセミナーにおける内容の理解度が高く、子育てについて勉強したいという保護者のニーズもあるので、来年度以降もセミナーを開催していきたい。基調講演や質問タイムの時間が短いという声もあったので、タイムスケジュールについて検討する必要がある。

(イ) 質問タイムについて、今年度は事前にいただいた個別の質問に対してパネリストが参加者全員に回答する方法だった。来年度は分科会形式とするなど、参加者とパネリストの距離がもっと近くなるように工夫するのもしよいかもかもしれない。

イ 福祉と教育の連携体制について

(ア) 「わたし手帳」について

学校の個別教育支援計画に合わせてサイズをB5からA4に変更するとともに、情報が更新された場合に差し替えがしやすいように形式を冊子からファイルに変更した。また、記載内容についても見直しを行った。

(イ) 子ども連絡会について

令和2年1月22日（水）に今年度2回目の子ども連絡会を開催した。

市内の障害児通所支援事業所が「子どもの発達や成長を促すために取り組んでいること」等をテーマにグループワークを行った。

参加者へのアンケートでは、今後、職員の資質向上のための勉強会をやりたいという意見があがった。

ウ 医療的ケア児の支援体制の整備について

学校等における医療的ケアへの対応について、現在は保護者対応となっているが、保護者にかかる負担が大きいことから、学校等に通う医療的ケアを必要とする児童とその家族に対する支援策について、検討等を行っていくこととした。

4 平成31年度の目標に対する総括及び今後の検討課題

(1) 子育て支援セミナーについて

子育て支援セミナーを開催し、参加者の満足度は高かった。病院の先生、福祉機関、教育機関及び実際に子どもを育ててきた先輩保護者からのアドバイスは、参加者が今後の子育てをする上で、役立つことが期待できる。

来年度については、開催時期、時間配分及び質問形式について検討し、より保護者のニーズに合ったセミナーとなるようにするとともに、セミナーの参加者が支援機関等につながっていくことを目指す。

(2) 福祉と教育の連携について

「わたし手帳」について、より多くの支援機関において活用してもらうため、支援機関のアンケート結果を踏まえて、形式と内容の見直しを行った。

今後は「わたし手帳」を普及させていく中で、実際に手帳を記載している障害者とその保護者からご意見をいただき、「わたし手帳」の内容について更なる見直しの検討していく。

(3) 医療的ケア児の支援体制の整備について

学校等に通う医療的ケアを必要とする児童とその家族に対する支援策について、検討を行っていくこととした。

今後は愛知県が実施した医療的ケア児に関する実態調査の結果を基に、医療的ケア児の課題の共有と対応策の検討等を行っていく。